



2008年3月入職

くりたにまさし
栗谷真司

新しい風を組織に吹かせたい

勧められたのがきっかけで臨床工学技士の学校に入学

私はもともと商売人の家系。私も例に漏れず、大学卒業後はサラリーマンにはならず自分で事業を興していました。転機は25歳のとき、検査技師をしていた知人から「目指してみたらどうだ」と勧められたのがきっかけです。そんな選択肢を考えたこともなかった私にとっては寝耳に水でしたが、自営業をしているよりも生活が安定するかもしれないと思い、専門学校に通うことを決めました。卒業して資格をとり、こうしてCEとしての人生を歩んでいるというわけです。改めて振り返ってみると、人生とは不思議なものだなと思います。



新しい刺激が欲しかった



日々の業務で心がけているのは、ファインプレーはいらないということ。ミスが起こってから対応するのではなく、事前準備を怠らずに、あらかじめミスが起こらない状況をつくることに気を配っています。プロ野球で言うと、イチロー選手がそうでしょうか。名手と言われていますが、実はファインプレーそのものは少ないですよ。

そんな私がエキスパート CE に立候補したのは昨年の10月。環境に変化をつけたかったのが理由です。仕事にもやりがいはあったのですが、そのときの自分には新しい刺激が必要だと思いました。具体的な目標として掲げていたのが、外部の方たちとの付き合いを増やすこと。エキスパート CE になると社外にもつながりが生まれることに魅力を感じました。今後はそうして得たものを持ち帰り、新しい風を組織に吹かせたいと思っています。時代の変化に対応していくことはどんな業界であっても欠かせません。今放映されている大河ドラマが描いていることもまさにそう。時代の流れを読みながら、自ら変革を起こしていける臨床工学技士になればと思っています。

様々な変化に対応
出来るCEを目指します。
栗谷真司